

昔、昔、首里んかい、モーイ親方んで言る優りとーる人物ぬ居いびーたん。モーイ親方
一首里王府ぬ中をて、三司官で言るいつペー位ぬ高さる立場とし、働ちょーいびーた
ん。くぬモーイ親方ぬ童時分ぬ御話やいびーん。

男の子「モーイ、やーやかたぐーまんちやーし、履ちよんどー」

友人「は、は、は」

モーイ「はあー、かたぐーまんちやーし、履ちむんし、何ぬ悪さが。くぬ右やたりーから頂
ちやる足駄、左やあやーから頂ちやるさばやさ」

男の子「分とーらー、しかつと履ち直せー」

モーイ「分てーをらんやー。二ちまじゅん履ちゆしる、親ぬ孝やさ」

友人「ふーん、いふーなむん」

父親「やーや、あんし、情けねーらん子やが。履物ぬ話ぬ町中噂さつとーしが」

母親「此ぬ家ぬ嫡子らーしく、しかつとし取らし」

父親「うりに、なーふん勉強さんだれー、此ぬ我ん如首里をてぬ御勤みんならんしが」

母親「あやーやなちかしく成いさ」

モーイ「んー。分かやびたん。たーり、あやーぬ泣ちゆるあたい喜くばせー、宜さいびー
んやー」

やしが、モーイや、何ん変わらん。

父親母親「あー、此れー成らん」

母親「はー！モーイやまた何やまちらかちょーがやー」

父親「んー？おー、此れーまた、ちびらーさん！」

父親「自見者不明、自是者不彰{みづからあらわすものはあきらかならず。みづからよ
しとするものはあらわれず}」

母親「何やーびーん、うれー？」

父親「んー、中国から伝わとーる詩ぬーち。世間かいどーまぎく見しーしえー、返てー
世間からー、見ーらんで言る意味ぬ詩や。あー、うりぬちきてん、あんし見事な書ち物」

モーイ「うー、りー、や、我ーが書ちえーる物やいびーん」

母親「モーイ、ゆくし言ちえーならん」

父親母親「おー！」

モーイ「我んねー、皆が見ちえー無ーらん所をて、勉強そーいびーん」

(以下略)